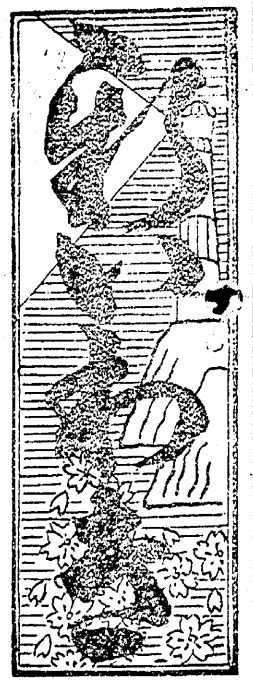
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）

【日刊】 昭和八年十一月廿五日 新いわき 【木曜日】 第一千四十六號 （一）

十一月二十四日 夕刊



講習所を併置する 水試場の移轉改築

最適當な敷地を地元の寄附で 工費は二萬六千九百圓

小名濱町に出來る縣立水産講習所の設置は明年度に於ける新事業の一つで多年本縣沿岸一帶の漁當業から振はざるを歎かれてゐた斯業の教育に光明を與へられることになつたが之れと同時に腐朽頽廢を極めてゐる縣水産試驗場の移轉改築を行はれる筈で縣當局と同町との間には現敷地を小名濱町に無償交付する附帶條件を以てより最良な適地を寄附することに交渉が濟んでゐる模樣であつて前記講習所を併置する二萬六千九百圓の豫算を大部分建築費に充てられるものとせば同町に一美觀を添ふる堂々たる新廳舍が出來るであらうと

小川江の續工事に 明年度三千七百圓

匡救事業後の四ケ年計畫に 廿萬三千七百圓を豫算

今二十四日小川村關場に於ける分水地で起工式を擧げた小川江筋の改良工事は總工費三十万七千二百圓を投じられるもので内十万三千五百圓は今明兩年度に亘る匡救事業として行はれるものであるが右匡救事業を打切られた後の繼續を第二期工事として堰堤その他水路の改修に二十萬三千七百圓を豫算し縣は明年度に端數額の三千七百圓を計上してゐる殘る二十萬圓の工事を十年度から十三年度まで四ヶ年繼續を以て行はれることになつてゐる此の國庫補助並に地元負擔は左記の如くである

國庫補助九萬九千三百五十六圓　縣負擔三萬九百五十六圓　同江堰組合負擔七萬三千七百九十四圓（以上）

小川江改修の 地鎭祭

今日關場で擧行

既報石城郡小川江の改良事業起工の地鎭祭は今二十四日午前十一時小川村關場に於て執行された、參列者は知事代理の市橋耕地課長外堤耕地課技師佐藤、鈴木の地元代議士及び井上、野崎、石川、萩原、草野各縣議木村、安島前代議士その他、町七ケ村千二百五十三町歩灌漑關係有志數一名で嚴かな神職の修祓かゝ四方堅め鍬入れの式を終へて玉串捧奠後長瀬水利組合管理者の起工の挨拶に對して代議士代表鈴木辰三郎、縣議代表井上茂作氏その他の祝辭あり正午式を閉ぢ祝宴後散會した

臨時縣會に廻される 蛭田宇多の河川改修

内務省がやると云ふ聲がかりに 出費多端の縣がどう動く

石城郡南に於ける蛭田川の沿水工事は沿岸各部落多年の宿望で明年度から三ケ年繼續を以て着工したい希望の下に概算二十七萬圓の工事設計を組まれてゐて、之れと同時に相馬郡にありても宇多川改修を熱望し地元最負の釘本縣會議長等が縣費頭付上相馬郡の希望を先きにすべきであると蹶起運動の折柄内務省の土木會議に於て兩河川共に工事施行を決したことを兩者の喜びとされてゐるが今通常縣會に右の提案がなく同事業は別案を以て臨時縣會に附されることになるであらう、其の結果として出費多端の本縣にどう動くか希望の遂成は寧ろ之れからの運動によるものと兩郡睨み合ひを演じてゐるが經濟的關係が結論となつた場合蛭田川の改修に或は民政派の反對が來はせぬかと成ゆきを注目されてゐる

平署官下の消防 機閲

平署管下に於ては消防機閲中であるが近く執行されるものは來る二十六日赤井村小學校に於て同村及び小川、下小川の小聯合檢閲、二十八日湯本十二月一日磐崎、三日は内郷村に於て行はれると

常識講座

トリオボリーのトリオは樂の三部合奏、三曲奏のこでボリーは政策の意だが此の場合の意味は勞資消二者公平の政策と云ふことでモノボリーは獨占、デユボリーは二部とか二者のと

若き選手の意氣高く 高月台上の白熱戰

打擊の安中に地もこ軍崩る

新人野球

磐陽球界シーズン棹尾を飾る豪華戰―安積中學、磐城中學半商業の三中等學校新人野球戰は昨二十三日午前九時半から磐中球場で熊、石坂、阿部、水武四氏審判の下に擧行された、三校の新人補根の限を盡くして攻防熱戰を續けたが結局地元兩軍に戰運惠まず遂に安積中學をして名を成さしめた

安中對平商

平	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3									
安	5	3	0	1	0	2	0	2	A	2									

この日、平商赤坂投手コントロールに難色あり球勢を整へんとして眞中に投げ込む直球は安中打者によく内外野に快打され又バックの拙劣はタイムリーエラーをまねぎかて加へて平商の打擊は八本の安打も散發に終りワンサイドゲームとなつて平商大敗す、

安中對磐中

磐	0	1	6	0	0	1	4	1	0	13									
安	3	3	4	0	2	0	2	2	2	18									

磐中高羽投手制球力なく安中の猛打を浴び三回にして早くも十一と九點の開きをみせたが三回裏　藤澤投手の小調に乘じ磐中の攻擊振ひ九つの四死球と二本の長打に一擧六點を返したが七回までに安中合計十四點を擧げて六點をリード、七回裏磐中安打二、四死四球敵失一に四點を奪還してその差二點に迫る、八回安中二點、磐中一點を返す、九回安中安打四本を集中して又も二點を加へる、磐中最後の攻擊も空しく刀折れ矢盡き十八―十三で磐中惜敗

中野内澤藤根瓶藤邊堀
安清大藤佐關二伊波大
7 1 2 3 5 4 9 8
磐6秋4水(西)7 8 2 1(上)9 3 5
中山野(原)部野野羽坂藤林子
4(岡)小草高蓋小益
商木澤
平々會森原坂田木橋
6佐會萱赤沿鉾高(荒野土)
4 2 53 1 37 78 9 76 8 5(白)

聯合分會の射擊場

神谷村に出來て 十二月に竣工式

石城郡在郷軍人聯合分會では從來同郡神谷分會に於て假設使用してゐた同村中神谷清水地内の射擊場を譲り受け射柔並に射場及び國防器具に銃器五挺を整へたる等經費五百九十圓で此の程竣工したが來十二月十日盛大な竣工式を擧行の筈である、尚ほ同射擊場は年・回聯合分會の實演ある外は各分會、青年訓練所、磐城中學、半商業學校生徒その他の各種團体の使用に公開する由であつて同地方には稀に見る完備の射擊場であると

縣下女教員實務講習會

來月七日磐女校で

縣では實業補習學校並に小學校女教員に對し時勢の進運に伴ふ教養を施し且つ郷土の更生に適切なる生活改善の實務指導を行ひ其の實力を向上せしむるため今回縣下女教員實務講習會を十二月七日から四日間に亘り磐城高等女學校に於て開催することになつたが講師及び講習科目は左の如くである

一、女子實業補習學校の經營―福島縣實業補習教育主事景山鹿造　二、學校教育を中心とした生活改善―磐女校長正木良二郎　三、合理的經濟營養料理―磐女教諭内村理同有馬ヒサ子　四、農村兒童營養改善―有馬ヒサ子　五、家庭生活に於ける和洋裁縫の合理化―磐女教諭佐々木クマ　六、郷土的手藝の改善―磐女教諭森いさみ　七、郷土化せる洋裁―磐女教諭大川ヨシ子　八、農村向の營養料理の實際―坂下實科高女教諭桑原タカ

分團對抗野球

廿六日に延期

昨日續行の筈であつた平町青年分團對抗野球大會は又も延期の止むなきに至り二十六日午前九時から磐中、半商、平第一の三球で擧行する

飯野氏の美擧

平第二校郷土室へ

神林氏の書額寄付

平第二小學校職員十六名より組織される歴史研究會では二十四日午前十一時から縣社八幡神社で飯野古文書の緣起調査をなし又同社の寶物を拜觀したがその際同社々司飯野盛男氏は故平藩儒學家神林氏筆の書額一個を同研究會へ寄付した

訓盲院同窓會

昨日盛大に擧行

第二十七回磐城訓盲院同窓會は二十三日午前十時から同院講堂で開催、出席者七十名あつて午後五時盛會裡に閉會したが午後からの余興は「光りなき世界に生きる人」の常人を凌ぐ珍藝、妙技の達者な所をみせた、就中同院女生徒總出演訓盲院管絃樂團？伴奏の舞踊「東京音頭」は當日の壓觀として來賓はじめ來會者一同の絶稱を博した

小僧の横領と 窃盗犯

自轉車數台を盗んで

石城郡小名濱町中の坪三七生れ當時當郡勿來町大日本炭礦雜夫金成重雄（一八）假名は去る九月中小川郵驛前にあつた自轉車一台を盗乘したるを初め平町聚樂館附近に於ける自轉車一台、湯本町辰の口踏切にあつた自轉車及び平驛前ポスト脇にある自轉車等を乘り逃げして何れも二、三日使用の後隨所に投棄してゐたのを平署に探知檢擧取調べの結果去る昭和五年三月中は日立鑛山倶樂部の棚にあつた現金五圓二十錢在中の巾口、六年二月中は同地郵平金成里次方店頭の貯蓄金三圓を、七年七月中は東京下谷區中御徒町自轉車屋齋藤八郎方の小僧に入りて集金七十圓、本年三月中は東京神田區豊島町富樫仙吉方に飴製造見習に入り同居の高橋健次郎所有現金一圓五十錢等其他數件の窃盗横領をなし居ること自白、今二十四日平檢事局に送られた

城山弓友大會

昨日聚樂園にて

平町城山弓友會秋季大會は廿三日午前九時より聚樂園で擧行されたが出席者五十餘名の盛會で成績左の如くであつた

競射一等松本正　二等松崎吉繼　三等小野菊彌　四等鈴木勝明　五等竹山松三郎　六等青木清太郎　七等平野井留藏　八等四家折兵衛　九等仙北繁太郎　十等伊藤傳吉　金的赤塚勇（湯本）揚的桐田銀彌（平窪）

五錢奉仕會醵金

（奉仕各位）

金五錢津田遂造　荒忍　大須賀百世　金澤邦男　玉手利藏　阿部ミツノ　國分チイ　熊谷保高　鈴木トク　佐藤信義　大和田キヨ　吉田治藏　仲村操　草野光司　松本清美　山森タマ　小松政一　蛭田イサ　橋本正雄　米本實　野原忠見　海老原英　木村ヒデ　渡邊啓二　鈴木寛　先崎清　根本つな　志賀なか　金三十錢（六ケ月分）猪狩觀德　金五十錢（十ケ月分）前澤文太郎　金十五錢（三ケ月分）大塚鳳三郎　金十錢吉田五平　山田長四郎　金五錢諸橋鐵彌

合計金二圓六十錢　累計金四十圓八十錢（以上平庶民金庫現在預入額）

殺菌劑と殺蟲劑（十四）

農試本場　守野生

（使用上の注意）

一、本劑は使用の都度に調製し稀薄液は貯藏してはならない、

一、水は軟水を用ひ且つ必ず石鹸を使用しなさい、

一、液狀のものは虫の强弱により三〇〇倍乃至一〇〇〇倍に稀薄して使用するものにして最初濃き石鹸液に混合の後稀釋する

デリス石鹸

驅虫成分を粉石鹸と混じ乾燥したるものであつて冷水中に揉み出して溶解する

（調合量）

デリス石鹸一〇乃至三〇匁（二〇瓦－六〇瓦）

水一斗（一〇立）

（使用上の注意）

一、本劑は特に石油或は石鹸を加用すれば殺虫力を增大す、

一、デリス石鹸末は常に密閉鑵に貯藏せざれば吸濕して効力を減ずる虞がある

一、石油の分離せるものは使用すべからず、

ニコチン

煙草粉及び硫酸ニコチン等が普通なものであつて有毒成分ニコチンを含み有効にして應用廣き殺虫劑である

煙草粉

專賣局指定工場に製產せられ約煙草粉八〇%、消石灰一六%、硫黃四%を合成販賣せらる、粉劑として蛾虫、背虫類、浮塵子、あざみ馬（スリップス）その他に使用せられ使用簡易にして廣く用ひられる消石灰の細粉末等と混合し時重するのもよい

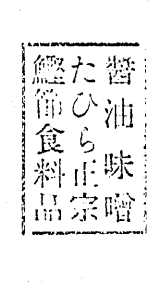
早朝又は夕刻葉葉の濕める時に使用し撒粉器を利用すれば便利である、又煙草粉三〇匁（六〇瓦）生石灰一〇〇匁（一八〇瓦）水一斗（一〇立）を混合せる液を粗布を以て爐過し液休として使用することもよい、

流行ショール陳列

ツルヤ　今冬の流行を代表する最新な柄……　平四　電一四〇

醤油味噌　たひら正宗　經節食料品

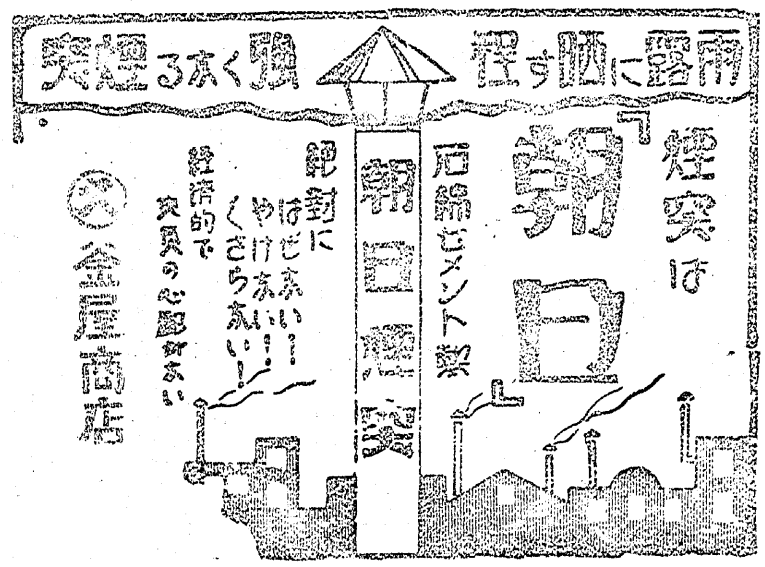
明治生命磐城代理店　福島縣平町　電話　營業部　本店　一一〇番　二一〇番　山崎與三郎



醤油は……ヤマフル

山崎合名會社

入院應需　明雲堂眼科醫院　平驛前　電六六九番　◎自炊の便あり◎



債券　公債　両替　金融

多田井質店　平町大工町　電話五九一番

磐城共濟病院（電話六一四二・四二）

內科、小兒科（院長醫學博士）石山謙郎
產婦人科（副院長醫學士）五十嵐雄二
外科、皮膚、性病科　耳鼻咽喉科（部長　醫學士）有馬勇二郎
X光線科、物療科（醫學博士）石山謙郎（技術員）有山虎
衛生試驗所（獸醫）高後利雄
藥局（藥局長藥劑師）吉本孝平
（事務長）鈴木寶雄

全世界に類例なき消化……榮養……治療　三種用を兼備せる

休力昂進　登錄商標　ヒタミゼ　代表的の活性ヘーフエキ劑の最新劑

活性ヘーフエキ劑とせる本劑は休力昂進榮養素として榮養障碍、食欲不進、各種急慢性胃腸病患、ヴイタミン缺乏症、腎氣、衰弱、結核性諸症、肺膜炎、腦神經衰弱、血液不進、浮腫、産後回復期、ジンマシン、學兒發育、乳兒腎氣、妊產婦の衰弱、乳汁分泌不足、其他身体諸機能の新陳代謝を旺盛にす、

平町五丁目

平町專賣店　山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢

御肉の用命は　三三屋　平町田町

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社　特約販賣

油問屋　關內油店　磐城平　電話長16

郡山市驛前通　電話長八二三　支店

茨城縣關本驛前　電話長平潟七三　支店

油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

◇一般印刷物も御引受致します◇

新いわき新聞社

秋のサロン

今が夏ヤセの絶頂

健康恢復が急務

サロンの健康ランチ　四十錢

美味で評判の　平田町　サロン　電話三五二番

安價で効果的な

天然加里肥

最も適應する作物！

茄菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類

◇茄果類ではトマト　茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます

天然加里肥は酸性でないから

◇如何に施用しても土壤を惡變する虞は絕對にありません

一俵　參拾錢

（大量取引は特に割引致します）

製造販賣　金成國雅　平町鎌田　電話六八八番

〝貨物自動車〟の御用命に應じます

東神火災保險株式會社　東京動產火災保險株式會社　横濱生命保險株式會社

磐城代理店　河田鐵工場　河田梅吉

營業所　福島縣平町白銀町一　電話三二九番　二九五番

本社　東京市日本橋通り三丁目

仙臺支部　仙臺市大町三丁目